

1. 事業評価説明シート

事業名	治水事業〔基幹河川改修事業(国補)〕	事業箇所	笛吹市春日居町鎮目	地区名	平等川	事業主体	山梨県																														
<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景 平等川は、山梨市、笛吹市を流れ甲府市上曾根町付近で笛吹川に合流する流域面積33km²、流路延長13kmの一級河川である。 平等川の当該区間の断面は狭小で平成12年9月12日の集中豪雨時には床下浸水28戸や田畑、道路冠水などの被害が発生し、以降下流から改修が進められてきた。 当該区間沿川には家屋が点在し、洪水氾濫発生時には下流の住宅地等へ氾濫流が伝搬し甚大な被害が生じる恐れがあるため、河道を拡幅し氾濫防止を図る必要がある。</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 洪水被害の防止 ・過去の災害実績、事業の緊急度、災害発生の危険度 21点≧21点 ・想定氾濫区域1ha当たりの被害軽減額 49.8百万円/ha≧6百万円/ha ※評価基準 □副次目標 — □副次効果 緊急時の避難・救助機能の確保 被災時の被害波及の防止</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) 河川法第1条及び第9条により河川の洪水防止が義務付けられている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) 県が管理する一級河川(指定区間)のため。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>③経済妥当性 費用便益費 便益(B)/費用(C) = 40.7 > 1.0 ・便益(B) = 30,166.0百万円、・費用(C) = 741.9百万円</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 過去の浸水被害の再発を防止するため、最も効果的な事業規模である。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 法勾配を5分として低水路幅を広く確保するとともに、用地の確保を抑え、コスト縮減を図る有効な手法。</p> <p>⑥環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 滞筋を設け、水際に捨石などを配置し、自然環境への影響を少なくする。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地元の要望も強く、熟度は高い。</p> <p>総合評価 [貢献度ランク: a] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>																																	
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>①整備内容 河川改修 L=700m</p> <p>②整備期間 平成27年度～平成36年度</p> <p>③総事業費 約850百万円(国費425百万円(5/10) 県費425百万円(5/10))</p> <p>④全体計画 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="1" data-bbox="257 1141 1086 1396"> <tr><td>平成27年度</td><td>測定</td><td>30百万円</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>護岸工、用地補償</td><td>45百万円</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>護岸工</td><td>45百万円</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>橋梁工</td><td>130百万円</td></tr> <tr><td>平成31年度</td><td>護岸工</td><td>95百万円</td></tr> <tr><td>平成32年度</td><td>護岸工</td><td>95百万円</td></tr> <tr><td>平成33年度</td><td>護岸工</td><td>95百万円</td></tr> <tr><td>平成34年度</td><td>護岸工</td><td>95百万円</td></tr> <tr><td>平成35年度</td><td>橋梁工</td><td>130百万円</td></tr> <tr><td>平成36年度</td><td>護岸工</td><td>90百万円</td></tr> </table> <p>⑤既整備内容・期間・事業費 護岸工 L=940m 期間:平成16年から平成26年 事業費:12億円</p>				平成27年度	測定	30百万円	平成28年度	護岸工、用地補償	45百万円	平成29年度	護岸工	45百万円	平成30年度	橋梁工	130百万円	平成31年度	護岸工	95百万円	平成32年度	護岸工	95百万円	平成33年度	護岸工	95百万円	平成34年度	護岸工	95百万円	平成35年度	橋梁工	130百万円	平成36年度	護岸工	90百万円	<p>【事業位置図等】</p>  <p>The map shows the project area in blue, extending from the mountainous region towards the town of Fuyuki. Key landmarks include the Yamanaka River (山沢川), Yamanaka Bridge (山沢橋), and Tokudome Bridge (徳條大橋). The project area is marked with a red line and labeled '改修区間 L=700m'. Other features include National Route 140 (国道140号), the JR Chūbu Line (JR中央線), and the town of Fuyuki (笛吹市). A legend indicates the project evaluation site (事業評価箇所) and the H12.9 flood area (H12.9浸水区域).</p>			
平成27年度	測定	30百万円																																			
平成28年度	護岸工、用地補償	45百万円																																			
平成29年度	護岸工	45百万円																																			
平成30年度	橋梁工	130百万円																																			
平成31年度	護岸工	95百万円																																			
平成32年度	護岸工	95百万円																																			
平成33年度	護岸工	95百万円																																			
平成34年度	護岸工	95百万円																																			
平成35年度	橋梁工	130百万円																																			
平成36年度	護岸工	90百万円																																			

2. 添付資料シート

省略

平成12年9月12日洪水出水状況 山沢橋



平成12年9月12日洪水出水状況 徳條大橋



標準横断面図

